

12. 古墳にならべられた埴輪（はにわ）

埴輪は粘土でできた焼き物です。古墳の上やまわりにずら〜りと並べられているの。埴輪には人の形をしたもの、水鳥（みずどり）、馬、犬、イノシシなどの動物の形、家や武器などの種類があるけれど、このうち最も多いのが、土管のような形をした円筒埴輪と呼ばれる埴輪よ。仁徳天皇陵（にんとくてんのうりょう）古墳には、なんと3万本もの円筒埴輪が並んでいたの。埴輪は最初、円筒埴輪しかなかったの。でもだんだんいろんな種類が増えていったのよ。

古墳に埴輪を並べた理由はまだ分かっていなくて、いくつかの説があります。亡くなった人を呪いや悪霊（あくりょう）から守るためという説や、王の位を引き継ぐ儀式を表したという説があります。

さて、ここでクイズです。この展示室には、家の形の埴輪はいくつあるでしょうか？また、動物の形をした埴輪は何種類あるでしょうか？正解を聞きたい人は62番を押して下さい。

（62. クイズの答え）

家の形をした埴輪は3つです。動物の形をした埴輪はウマ、イヌ、イノシシ、水鳥、ニワトリの5種類です。